

各 位

2023年1月6日
株式会社インプレス**Web 革命の全貌を紐解く解説書『Web3.0の教科書』発売記念！
1月6日（金）より期間限定で第2章を先行無料公開！**

インプレスグループでIT関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小川 亨）は、Web3.0を構成する技術やサービスを丁寧に解説する書籍『Web3.0の教科書』を2023年1月11日（水）に発売いたします。これに先駆けて、2023年1月6日（金）～1月13日（金）の間、本書の第2章を先行無料公開いたします。



Web3.0の教科書 発刊記念キャンペーン
第2章を
無料公開!

期間 2023年1/6(金) 00:00～1/13(金) 23:59

1/11
発売

中央集権化からの解放
世界が進化する**Web革命**を体現せよ

Web3.0の教科書
次世代インターネットの基礎知識
のぶめい 著

Web2.0から
進化した**Webの全貌**
を正しく理解する一冊。
ブロックチェーン/ビットコイン/NFT/DeFi/GameFi/DAO/メタバース/BaaS
などのあらゆる新概念を体系的に学ぶ。
インプレス

<本文第2章 先行無料公開キャンペーン特設ページ>

<https://book.impress.co.jp/items/web3-textbook>

期間：2023年1月6日（金）00時00分～2023年1月13日（金）23時59分まで

対象書籍：『Web3.0の教科書』のぶめい [著]

■Web3.0の全貌を正しく理解できる書籍を出版

Web業界の最新技術を見渡すと、ブロックチェーン、暗号資産、ビットコイン、イーサリアム、NFT、BaaS、DeFi、dApps、DAO、メタバースなど、たくさんのキーワードで溢れてかえっています。どれも次世代Webを支える重要な技術やサービスを表していますが、それら全体を総合的に正しく理解するためのコンテンツに乏しい状況です。本書はその情報不足な状況を打破すべく執筆された、Web3.0を正しく理解できる1冊です。

■1月11日（水）の発売に先駆けて第2章を無料公開！

今回無料公開する第2章は、「Web3.0」の概略が特に簡潔にまとめられており、本書全体の方向性が垣間見られる章です。ぜひご一読いただき、本書の雰囲気味わってください。本書の無料公開箇所は、スマートフォンはもちろんタブレット端末やパソコンからも閲覧できるようになっています。下記のURLより、Webブラウザを使ってご覧ください。

<キャンペーン特設ページ>

<https://book.impress.co.jp/items/web3-textbook>

期間：2023年1月6日（金）00時00分～2023年1月13日（金）23時59分まで

■紙面の閲覧には「インプレスWebブックビューアー」を使用

Web3.0業界の構造と基礎知識

2-1 Web3.0が世界で求められる必然性

POINT ここではWeb3.0業界の構造について解説します。

前章では、Web3.0業界の基盤技術であるブロックチェーン技術と、業界を取り巻く情勢、デジタルゴールドとして世界的に認められつつあるBitcoinについて解説しました。ブロックチェーン市場の市場規模は2兆ドルを超え、大きなムーブメントになっており、それを牽引してきたのがBitcoinです。Bitcoinが既存市場から奪い取った2兆ドルの半分がブロックチェーン技術を組み込んだ新しいサービスに再投資される流れになっています。そして、その流れは「Web3.0」という名称でブランディングされ、大きなうねりとなり、莫大な資産と人材がこのWeb3.0業界に流れ込んでいるのが現在の潮流です。ここでは下図をもとに解説しているので、念頭に置いておいてください。各レイヤー（領域）の詳細については次章以降で説明しますが、ここではWeb3.0が世界で求められる理由について解説していきます。

Web3.0のレイヤー

- NFT/dApps
- Stablecoin
- DeFi
- BaaS
- ブロックチェーンの相互運用性
- Web1.0プロトコル

既存市場

- 法定通貨
- 株式市場
- 土地・不動産
- 金（ゴールド）

86.5兆ドル

デジタル市場へ2兆ドル流入

1 Web3.0の現在地

インターネット利用者数と暗号資産保有者数の比較

まずは数字で見ましょう。現在のWeb3.0人口は、暗号資産の保有者などから推測すると1.2億人程度です。この人口をインターネット利用者数と比較すると、

2-1 Web3.0が世界で求められる必然性

ちょうど1998～2000年頃のインターネット利用者数に相当します。下図はインターネット利用者数と暗号資産保有者数の人口の比較です。1998年というと、およそAppleが最初のiMacを完成させたタイミングであり、Web3.0がまだ一般層から遠い存在であることがわかります。

インターネット利用者数と暗号資産保有者数の推移

2014 16 18 20 22 24 26 28 30 32 34 36 38 40 42 (年)

インターネット利用者数 (下軸、左軸)

暗号資産保有者数 (上軸、右軸)

出典：International Telecommunication Union, Our World in Data, Crypto.com, Statista, Bloomberg, and Wells Fargo Investment Institute.

インターネットからWeb3.0へのリソースの流入

インターネットとスマートフォンの2つのテクノロジーが一般層へ広まったスピードを考えると、テクノロジーが一般層に実感を伴って浸透するのは、ユーザー数が10億人を突破してからという分析があります。現在のインターネット利用者数と比較すると、Web3.0業界の規模感は10分の1程度ですが、逆に見れば「これから10倍に伸びる可能性がある」と捉えることもできます。

米国のThe New York Timesでは、米国の優秀な人材が「Web3.0は人生に一度のチャンス」と見定め、Google、Amazon、Metaなどの巨大企業からWeb3.0業界に流れていると報じています。なぜWeb3.0業界にこれほどのリソースが集まっているのでしょうか。この理由について、これまでインターネットに関わってきた人々がWeb2.0をWeb3.0に進化させようとするIT業界の「内側」からの圧力と、

書籍内容の提供には、自社開発の「インプレスWebブックビューアー」を使用しています。Webブラウザで紙面を閲覧できるので、場所や時間を選ばずにパソコンやタブレット端末、スマートフォンなどから、登録不要で利用できます。また、SNSでの書籍情報の共有や詳細情報の確認、購入までができる機能も備えています。

■本書の構成

序章 Web3.0とは何か

第1章 ブロックチェーンとそれを取り巻く世界情勢

第2章 Web3.0業界の構造

第3章 ブロックチェーンの相互運用性とマルチチェーン開発競争

第4章 BaaS市場

第5章 DeFi市場

第6章 Stablecoin市場

第7章 NFT市場

第8章 dApps市場

■書誌情報



書名：Web3.0の教科書

著者：のぶめい

発売日：2023年1月11日（水）

ページ数：304ページ

サイズ：A5判

定価：2,530円（本体2,300円＋税10%）

電子版価格：2,530円（本体2,300円＋税10%）※インプレス直販価格

ISBN：978-4-295-01429-4

◇Amazonの書籍情報ページ：<https://www.amazon.co.jp/dp/429501429X/>

◇インプレスの書籍情報ページ：

<https://book.impress.co.jp/books/1121101127>

■著者プロフィール

のぶめい (nobumei)

SUSHI TOP MARKETING株式会社 COO、情報経営イノベーション専門職大学 客員教授。2014年に東京理科大学を卒業。卒業後、個人でEC運営やWeb開発を経験。2016年、博報堂DYメディアパートナーズ入社、メディアプランナーとしてプランニング業務に従事。2017年、CryptoKittiesに衝撃を受け、dAppsゲームの開発を会社に起案、採択される。2019年、新規事業開発局に異動となり、ブロックチェーン/NFT関連の事業開発に従事。2022年、「PLAY THE PLAY for J.LEAGUE」を開発、ローンチ後、独立。好きな食べ物はカニ。

以上

【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計 7,500 万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT 関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch シリーズ」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」、「SmartGrid ニュースレター」、「Web 担当者 Forum」等の企業向け IT 関連メディアブランドを総合的に展開、運営する事業会社です。IT 関連出版メディア事業、およびデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

E-mail: pr-info@impress.co.jp URL: <https://www.impress.co.jp/>

※弊社はテレワーク推奨中のため電話でのお問い合わせを停止しております。メールまたは Web サイトからお問い合わせください。